

グルメ漫画のエポック的作品、『包丁人味平』。作画を担当し、原作者とともに作り上げたのは、藤沢に長年住み、地元民に愛されるビッグ錠です。

『包丁人味平』の連載が始まったのは1973年。高度経済成長がピークに達し、庶民の外食も当たり前になってきました。作中で繰り上げられる料理人の対決は読者の目に魅力的に映ったことでしょう。

味平の連載がスタートする1年前に誕生した風間サチコは、漫画に影響を受けた作風で社会風刺を一色刷りの木版画で描きます。両者に共通項はないように見えますが、日本経済が豊かになる一方で起きた様々な問題や閉塞感を描く風間の作品は、『包丁人味平』の世界とは表裏一体の時代の側面を反映し、社会を多角的に見せます。二人の共通項は「戦争」にも。幼少のビッグ錠自身をモデルとした漫画『風のゴンタ』では、戦後の子どもたちが力強く生きる姿が描かれます。風間は、飼育していたドジョウをモデルにした兵隊で『ドジョウ戦記』をシニカルに描きました。

黒いインクの漫画、一色刷りの木版、白と黒で構成される二人の作品を、熱気があった時代を振り返りながら展開します。今年は戦後80年、平和を祈るとともに、本展が未来を見つめる一助になることを期待します。

熱気の向こうの白と黒

ビッグ錠と風間サチコ
異食なふたり

ビッグ錠

1939年大阪生まれ。藤沢市在住。本名・佃龍二。

高校2年の時に貸本漫画『バグダンくん』でデビュー。高校卒業後、上京して漫画家を目指すものの、一旦その道を諦める。1967年、再上京して藤沢に居を構える。1971年漫画原作者、牛次郎とのコンビで『釘師サブヤン』が少年マガジンの連載に。グルメ漫画の基本フォーマットとなる『包丁人味平』が1973年少年ジャンプでスタートし、ヒットする。その後仕事人、職人、グルメを題材とした漫画を描き続けている。藤沢市湘南台の駅地下道では、地域のために自身が企画した漫画イベントを開催している。

風間サチコ

1972年生まれ東京在住。

1996年武蔵野美術学園版画研究科修了。

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒一色の木版画を中心に制作する。作品はフィクションの世界だが、制作に際しては古書を研究するなど取材を徹底し、現実や歴史の間を彫りおこすことで、真実から嘘を抉り出し、嘘から真実を描き出す。近年の主な展覧会として2024年第24回シドニー・ビエンナーレ(ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館、オーストラリア)、2021年「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021受賞記念展: 風間サチコ Magic Mountain」(東京都現代美術館)、2019年「風間サチコ展 -コンクリート組曲-」(黒部市美術館、富山)他多数。



風間サチコ《人外交差点》2013年 Collection: Queensland Art Gallery, Gallery of Modern Art © Sachiko Kazama Photo: QAGOMA



風間サチコ《ドジョウ戦記》2010年



ビッグ錠『包丁人味平』
(作・牛次郎 / 画・ビッグ錠 週刊少年ジャンプ1973-1977年)
©Ryupro, Inc.

表図及び背景 | ビッグ錠『包丁人味平』
(作・牛次郎 / 画・ビッグ錠 週刊少年ジャンプ1973-1977年)
©Ryupro, Inc.
右図 | 風間サチコ《クロベゴルト「Fasolt & Fafner」》2019年

関連イベント 9/25[木]より受付開始

10月11日[土] 14:00—

アーティストトーク

出品作家お二人にそれぞれの作品について

お話しいただきます。

聞き手 | アートスペース学芸員

定員 | 30名(要予約)

申込方法

電話、メール(fj-art@city.fujisawa.lg.jp)もしくは直接来館して参加者の氏名、住所、電話番号をお伝えの上、お申し込みください。

TEL: 0466-30-1816

(8:30-19:00 月曜及び月・祝の翌火曜休み)

*定員に達し次第受付終了。



ビッグ錠『釘師サブヤン』
(作・牛次郎 / 画・ビッグ錠 週刊少年マガジン1971-1972年)
©Ryupro, Inc.



電車 | JR「辻堂」駅 東口改札北口出口から徒歩5分

バス | 神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ

FASに専用駐車場はございません。

公共交通機関をご利用ください。

〒251-0041 藤沢市辻堂神台2-2-2 CoccoTerrace湘南6F

TEL | 0466-30-1816 Email | fj-art@city.fujisawa.lg.jp

HP | https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS/



藤沢市アートスペース
Fujisawa City Art Space